



Weekly Bulletin

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために
国際ロータリー会長 シェカール・メータ

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

静岡ロータリークラブ ●例会日/毎週月曜日12:30~13:30 ●例会場/グランディエール ブケトーカイ TEL.273-5225
●会長/谷本 宏太郎 ●副会長/望月 啓行 ●幹事/木村 絵美 ●副幹事/藤田 博久

2021-2022 9月6日 ☀ 第3596回例会
ゲスト卓話『「生活を切り開く人」を育てる。』



●ロータリーソング●



ソングリーダー
杉本 忠重君

●会長挨拶●

会長 谷本 宏太郎君

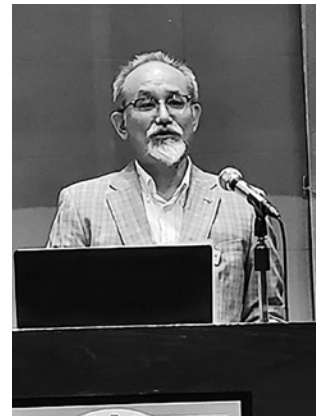
こんにちは、毎日TV観戦していたパラリンピックは昨日で終わってしまいましたが、障がいがあっても残された能力を鍛え上げて世界で戦う強さに魅了されてしまいました。TVで応援するばかりでなく、障がいを持つ人たちを支援したいという思いが強くなりました。さて、奉仕団体である国際ロータリーにおいて今月は重点分野の一つである「基本的教育と識字率の

●ゲスト紹介●

米山奨学生
ジョセリン・ネオ・ワンティンさん

向上」月間です。ちなみにロータリーは最近「環境」を重点分野に加えて現在以下の7つの重点分野を掲げています。「平和の構築と紛争予防」、「疾病予防と治療」、「水と衛生」、「母子の健康」、「基本的教育と識字率向上」、「地域社会の経済発展」、「環境」そして、ロータリーが行う「教育の支援」の目標は、地域社会が自力で学校を支え、教育における性差別を減らし、成人の識字率を高めていくことです。だそうです。日本においては読み書きができない成人がいるとは想像できないかもしれません。私はアメリカで半年ほど生活していたことがあります。町の Adult Learning Center という外国からやってきたばかりの成人向けに高卒の資格を与える英語学校に、最初のひと月間通い、様々な国からアメリカにやってきた人たちと知り合う機会がありました。アメリカでは英語が国の言葉として使われていますが、実際には様々な国や地域からやってきた人たちは皆が英語で生活しているわけではありません。ヒスパニック系はスペイン語ですし、チャイナタウンでは中国語で一生を終わる人たちも少なくありません。そのため、アメリカのTVは12歳が理解できることを基本として番組制作しているそうです。カリフォルニア州では運転免許はアラビア語、アルメニア語、中国語、ペルシャ語、ヒンズー語、韓国語、パンジャブ語、ロシア語、タガログ語、ベトナム語の10か国語で受けられます。日本はどうでしょう？外国人労働者やその子供たちがちゃんとした教育を受けられる機会は限られています。そこで、浜松西ロータリークラブではブラジルやペルーからやってきた労働者の子供に義務教育の機会を与えるムンド・デ・アレグリアという南米系外国人学校の支援をしています。教育の支援という点では我々静岡ロータリークラブは知的障害

を持つ子供の教育を担う静岡大学附属特別支援学校を支援しています。残念ながら、コロナ感染が一向に収まらないため特別支援学校の秋祭りが今年も中止となってしまいました。特別支援学校での秋祭りでの子供たちとの交流が失われてしまうと、知的障害を持つ子供たちとその家族、彼らに教育を与える先生方を身近に感じることができなくなってしまいます。パラリンピックを見るまでは障がい者の支援についてそれほど気にしたこともなかったかもしれませんが、彼らの活躍を見た後は支援したくなるように、知ることは支援への大きなきっかけとなります。元々はロータリー奉仕デーの秋祭りに備えて静岡大学附属特別支援学校的那須校長先生に特別支援学校のことを知ってもらおうと計画していたのですが、本日は那須校長先生に「生活を切り開く人」という演題で特別支援学校に通う児童生徒の目指す姿についてお話をいただきます。お話を聞いて我々にどんな支援ができるか考えてみましょう。



●退会の挨拶●

上島 充君



約●年間、お世話になりました。誠にありがとうございました。静岡RCでは色々な方と交流させて頂き、大変に有難

かったです。後任のサガラもよろしくお願い致します。まだ1年程は静岡に残りますので、プライベートでの交流を続けさせて頂ければ幸いです。

松林 俊明君



平成●●年から●年●ヶ月の間、お世話になり誠にありがとうございました。静岡RCの錚々たる顔ぶれの方々と交流できたのは貴重な財産となりました。ずっと静岡で過ごす予定ですので、引き続きよろしくお願ひ致します。静岡RCの益々のご隆盛を心より祈念しております。

●委員会報告●

青少年奉仕委員会 委員長 柳田 一男君

来週（9月13日）のクラブフォーラムの件。会場テーブル（4名程度）とZoomブレイクアウトルームを利用して意見交換して頂きます。テーマは、静岡大学教育学部特別支援学校ローターアクト他への青少年支援内容等です。初めての試みですが、積極的な意見交換をお願いします。

IT委員会 委員長 林 亮祐君

クラブフォーラムで利用するブレイクアウトルームの説明とテスト。当日は基本的には委員会ごとにルームを設定します。人数が少ないグループが出てくる場合には、此方で調整させて頂きます。登録メールアドレスでのZoomアカウントが必要。

●幹事報告●

幹事 木村 絵美さん

次回もZoomを併用して例会を開催します。支援している静岡大学教育学部特別支援学校の秋祭りが今年も中止となりました。

●おめでとう●

【誕生祝い】

- 月●●日 木村 絵美さん
- 月●●日 石塚 直美さん
- 月●●日 大石 明彦さん
- 月●●日 都築 東一郎さん
- 月●●日 柳田 一男さん
- 月●●日 植松 昌美さん
- 月●●日 松崎 至宏さん

【結婚記念日】

- 月●●日 川池 朗さん・恵子さん

●スマイル●

松崎 至宏君（現地）

誕生日のお祝い有難うございました。今日で●才となりました。いろいろいうところはありますが、まずまず元気でこうして例会に出席でき、おつきあいできることに感謝しています。

柳田 一男君（リモート）

●月●●日に、●●歳の誕生日を迎えました。●●代半ばに差し掛かって来ましたが、元気な子供たちの姿を見ていると、老け込んでいられません！これからも、快活に！一日一日を過ごして参りたいと思います。

木石 明彦君（現地）

誕生日のお祝いをありがとうございます。

都築 東一郎君（現地）

誕生お祝いを頂きありがとうございます。コロナの終息が見えず、旅行業をはじめ観光業が厳しい中ですが、前を向いて頑張っていきます。

植松 昌美君（現地）

お誕生日のお祝いありがとうございます。今日、お誕生日スマイルの為に出席しました。

粉川 翔太郎君 (リモート)

私事で恐縮ですが、●月●●日に無事、第一子、男の子が誕生いたしました。母子ともに元気にしております。コロナ禍ではありますが、奇跡的に分娩に立ち会うことが出来、産声が聞こえたときは感極まりました。現在は仕事帰りの寄り道もせず、育児に奮闘する日々を送っております。また世の中が落ち着いた時には家族例会などにも連れてきたいと思っておりますので、その際は可愛がって頂ければと思います。

松林 俊明君 (リモート)

お世話になりました。静岡ロータリークラブの益々の発展を祈念いたします。

石塚 直美さん (リモート)

●月●●日誕生日を迎えました。唯一、私が若手と言って頂ける静岡RC今後も、楽しんで例会出席させて頂きたいと思っております。ありがとうございました。

●出席報告●

例会日	全会員数 (出席計算人数*1)	出席 会員数	欠席 会員数	暫定 出席率
9/13	102(101)	現地 22名 Zoom 41名	39名	62.37%

※1 出席免除会員を引いた会員数。

出席免除会員は欠席しても出席扱いになるため。

欠席した方は年度内にメイクアップしましょう！
なお、国際ロータリー理事会の決定事項に則り、それに変更が無い間は全会員出席扱いとします。

●ゲスト卓話●

静岡大学教育学部特別支援学校

校長 那須浩二先生

題目：『「生活を切り開く人」を育てる。』

- ・ロータリークラブは難しい話をしているイメージでしたが、お誕生日や結婚記念日やスマイルの発表をして



いるのを拝見して、すごく嬉しく思いました。と言うのは、支援学校では常に生死と隣り合わせだからです。私も初めて支援学校に着任した直後に2名の生徒が亡くなりました。蘇生の可能性がない子供の心臓マッサージを続ける父親の傍らで、お世話になった医師や看護師にお礼を伝える母親の強さを感じた経験もあります。

・静岡大学教育学部特別支援学校は、昭和37年に開設 昭和50年に養護学校が就業義務化されましたが、それまでは免除されておりました。とんでもない事だと思えます。

・「生活を切り開く人」とは、本校が目指す姿。生徒だけでなく、教職員、保護者も自ら求め目指す姿でもある。自発的な行動、他律から自律の高まりが重要。多様化する今の社会には、より一層必要。適切な行動の仕方を自ら求めて創り出せる積極的な意欲を持たせることが出発点。真の適応、自立とは、社会的課題に自ら働きかけ解決する中で、自己の人間として要求を最大限に満たすという、積極的なもの。自分の良さを認識 → 他社を価値ある存在として認める → 持続可能な社会への貢献。『自ら』、「目的」に向かって、「目標・課題」を設定し、「計画」を立てて、「実行」し、結果に責任を持つ。これが生活を切り開く人の姿。「人を大切にする気持ち」が、課題解決のベース。生徒だけでなく、教職員、保護者も自らが求め、目指す姿